

検査部門の紹介

検査は大きく分けて
下のように2つに
分けられます



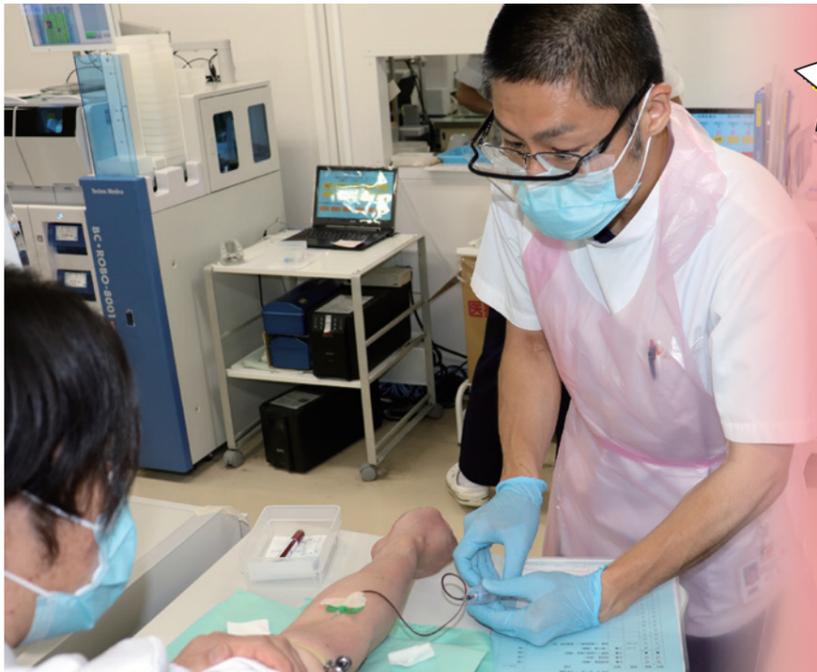
生理検査

身体を直接検査します。写真は心電図検査の様子です。この検査は心臓の電氣的活動を波形として記録する検査で、不整脈、心筋梗塞・狭心症、心肥大の有無などをみることができます。その他超音波検査（エコー）などが生理検査に該当します。資格を持った専門の検査技師が医師の指示のもとで検査を行っています。詳しい生理検査項目を裏面で紹介します。



検体検査

血液や尿など、採取された検体を検査します。写真は採血の様子です。採血は嫌いな方も多いと思います。気分が悪くなった患者さんに休んでいただけるスペースを準備しています。ベッド上での採血も可能です。遠慮なくスタッフにお声がけください。採取した検体を機械に入れ検査を行います。当院では多種多様な検査に対応しています院内の検体検査について次ページで詳しく説明します。（一部の検査は院外で行います）



超音波検査

人の耳には聴こえない超音波を使って体の中の様子を画像にしてみる検査で、エコー検査とも言います。超音波は身体への影響がほとんどなく、体表面に当てるだけで画像が得られます。あらゆる臓器、部位をみることができ、生理検査室では心エコー・血管エコーの部屋と、腹部エコー・頸部エコー（甲状腺やリンパ節）・乳腺エコーの部屋に分かれています。



聴力検査

耳の聴こえの検査で、耳のどの部分に障害があるかを調べます。子供の場合、写真やおもちゃを使いながら音に対する反応をみます。



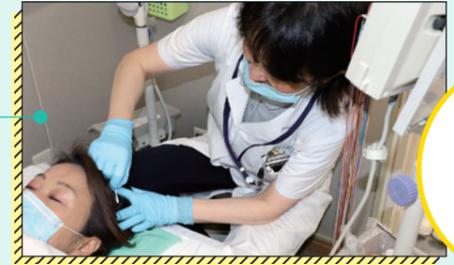
呼吸機能検査

息を吸ったりはいたりして呼吸状態を調べる検査です。検査内容は肺活量（SVC）、努力性肺活量（FVC）、気道抵抗・呼吸抵抗、気道過敏性テスト、鼻腔通気検査など



脳波検査

頭部に電極を装着して、脳の活動電位を記録する検査です。てんかんや意識障害の程度を調べたりします。



上記以外の
生理検査も
あります

筋電図検査

神経・筋肉の活動性を調べる検査です。検査内容は針筋電図、神経伝導検査、反復刺激検査、体性感覚誘発電位（SEP）、中枢神経磁気刺激、聴性脳幹反応（ABR）、聴性定常反応（ASSR）など



小児科

ササキ マユ
佐々木 真優

7月から赴任しました。患者さんとご家族に寄り添った丁寧な診療を心がけます。よろしく願っています。



■病院理念……わたしたちは、『人道』の赤十字精神に基づき地域の医療に貢献します。

■基本方針……

- 1 地域の基幹病院として、説明と同意に基づく「高度」「良質」な医療を提供します。
- 2 急性期病院として保健・医療・福祉・介護機関との連携を進め、最善の医療を行います。
- 3 救急病院として24時間地域の健康を守ります。
- 4 赤十字病院として災害救護に貢献します。
- 5 教育病院として次世代の医療人を育てます。

松江赤十字病院『患者さまの権利』

1. ひとりの人間として人格と価値観を尊重される権利があります。
2. 医療提供者との相互協力のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 検査・治療法などの自分が受ける医療の内容について、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. 説明を十分理解し同意した上で、医療行為を受けるかどうか自分の意志で選択する権利があります。
5. 医療行為の選択にあたって、他の医療者の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。
6. 診療の過程で得られた個人情報は、個人の秘密として厳正に保護され、承諾なしには開示されない権利があります。
7. 自分が受けている医療内容を知るために、診療録の開示を求める権利があります。

私たちが、上に掲げた患者さまの権利を尊重した医療を提供するために、患者さまには次のことをお願いいたします。

- ①自分の健康に関する正しい情報の提供
- ②医療への積極的な参加
- ③病院の規則を守ること
- ④研修医、医学生、看護学生などの研修・実習・見学への理解と協力

普段お見せできない 検査部に潜入!



錦織検査技師長

「検査」による情報は今の医療には欠かすことのできないものです。当院の検査部では”丁寧、正確、迅速、精密”をモットーに各分野の検査を臨床検査技師が行っています。より良い検査を目指して、各種の専門資格取得にも挑戦しています。ご不明な事がございましたら、遠慮なくお声がけ下さい。



採血は6カ所で行います。ここでは1日約200から350人の採血を行っています。



<遠心分離機>
1分間 3500回転で約5分間回します。上層と下層で成分を分けて検査します。



採血エリア



WC

尿検査エリア



血液検査エリア



生化学検査エリア



検査は自動化



当直部屋



救急外来や急変などに対応するため、夜間休日は検査技師2名が24時間待機しています。こちらは仮眠室です zzz

輸血も検査部で管理しています

輸血管理室



細菌検査エリア



検査部内に輸血?

輸血に際して、適合試験、輸血製剤の保管・管理、実施記録の管理・保管が必要です。これら一元管理を行うため、多くの病院では検査部内に輸血管理室が設置されています。

検体検査の紹介

「検体検査室」へGo!



機械では判明しないものは顕微鏡を用いて測定を行います。



全自動分析装置

検査のほとんどは自動化されています。スピッツ(検体の入った入れ物)がまるで「回転ずし」のように検査部内を移動しています。各セクションでスピッツに貼ったバーコードを読み取り、医師から指示された検査項目を実施します。検査結果も自動で解析し、システムに送信します。検査結果は電子カルテに送信され、医師が参照します。

生化学って何?

血液中のタンパク質・糖質・ビタミンなど様々な成分を化学的に測定する検査です。検査の中ではもっとも一般的なものです。調べる臓器によって検査項目が異なっています。各種生化学成分を全自動分析装置を使用して分析測定します。

細菌検査って何?

細菌検査室では患者さんより得られた検体から感染症を起こしている病原体を特定し、またどのような抗菌薬が治療に有効か検査しています。細菌の検出状況は院内感染対策チーム (ICT) に定期的に情報提供することで病院内の感染対策にも貢献しています。抗菌薬適正使用支援チーム (AST) にも属し、チーム医療の一員も担っています。また、PCR 検査もこちらで行っています。

奥まできれいに!



検査機械の清掃も毎日行います。機械のメンテナンスも大切な仕事です。



検査部には38名の臨床検査技師が働いています。(R4.7時点)

